

市町村名	南風原町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	町独自の商品開発技術力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア	
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
事業内容	地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い、産業展開する。異業種があつまり、プロジェクトチームを組み、南風原らしい商品開発を行い、生産、販路まで、展開し、競争力を高める。平成24年度はターゲットを2点に絞り、平成25年度は実際に商品を作る。平成26年度は、開発した商品の販路を開拓、拡大させる。						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,477	8,322	7,718		
		(b) 予算現額	5,477	7,411	7,718		
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 911	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	5,477	7,411	7,718		
	B. 執行済額		3,971	7,158	7,718		
	うち交付金充当額		3,176	5,726	6,174		
	次年度繰越額		-	-	-		
	執行率 (%) (B/A)		72.5%	96.6%	100.0%		
予算の状況の説明		当初の予定どおり事業の執行をおこなうことができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度 (2-③-x i)	25年度 (2-⑦)	26年度	27年度	
	加工品製造先の育成指導	目 標	(-)	(-)	(3回)	()	
		実 績	-	-	5回		
	町内外でのイベント等への出品によるPR	目 標	(-)	(-)	(2回)	()	
		実 績	-	-	8回		
	バイヤーとの商談	目 標	(-)	(-)	(2箇所)	()	
		実 績	-	-	商談会視察1回		
	【H24、H25活動目標】 プロジェクトチームによる試作品開発	目 標	(2品)	(試作品開発)	(-)	()	
		実 績	2品	試作品開発	-		
【H25活動目標】 試作品の試食会の開催	目 標	(-)	(試食会の開催)	(-)	()		
	実 績	-	試食会の開催(2回)	-			
達成状況説明	・食品に関する視察、販路開拓のための研修会を5回実施。スターフルーツのコンフィ(砂糖煮)作りの普及のため講習会を2日間実施。 ・町内事業者を対象にバイヤー(沖縄県物産公社)による講習会を開催し、商品開発に関するスキル向上を図った。 ・沖縄大交易会(コンベンションセンター)においては、視察研修ではあったが、今後の出展に向けてスキル向上を図った。 ・スターフルーツ、美瓜を使用して開発した商品2品(ゆめかなえぼし、美瓜カレー)を中心に、県内外のイベント各種に参加してPRをおこなった。 ・各所での出展時などにはバイヤーとの商談を進めたが、納入価格や賞味期限等の条件面で折り合わず、わたしたショップ那覇空港店の1箇所のみの商談成立となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度 (2-3-x i)	25年度 (2-⑦)	26年度	目標値 (27年度)
	販売先の確保	目 標	()	(-)	(-)	(5箇所)	(-)
		実 績			-	2箇所	
	【参考指標】 開発品のうち実際に商品化された商品の販売数 ゆめかなえぼしマドレーヌ(H25開発)	目 標	()	()	()	(1,000個)	(1,700個)
		実 績				1,641個	5,100個
	【参考指標】 開発品のうち実際に商品化された商品の販売数 美瓜カレー(H26開発)	目 標	()	()	()	(100食)	(350食)
		実 績				180食	521食
	進捗状況説明		・平成24年度はスターフルーツや美瓜(ヘチマ)を使用してジャムやピクルスを試作。平成25年度は美瓜を使った佃煮を試作し、スターフルーツのコンフィを使った「ゆめかなえぼしマドレーヌ」を新商品として開発。平成26年度は美瓜を使用した「美瓜カレー」を新商品として開発。「ゆめかなえぼし」、「美瓜カレー」を町内事業所2箇所でテスト販売をおこなった。 ・ゆめかなえぼしマドレーヌ、美瓜カレーともに販売目標を達成できているので、今後も継続して販売を続けていく。 ・ゆめかなえぼしマドレーヌ、美瓜カレー2品目の販売先(自社、リテーラー等)の確保に関しては、県内外でのイベント出展8回の中で、何度か商談を行ったが合意には至らず、自社店舗2箇所と「わたしたショップ那覇空港店(ゆめかなえぼしマドレーヌを販売)」の合計3箇所となった。販路拡大の為に、リテーラーとの商談を成立させるには、納入価格や賞味期限等の改善や製造方法の見直し、商品自体のブラッシュアップを進める必要がある。 ・スターフルーツとヘチマだけを原材料とした商品開発には、生産量や加工技術等の課題が多く、これだけに限らず、他の町産原材料(かぼちゃ等)、非食品分野(琉球餅など)を含めて再評価し、真に消費者や市場にとって魅力ある商品の開発を進める必要がある。 ・平成27年度にゆめかなえぼしマドレーヌの味のブラッシュアップを図り、味わいがまろやかになった。また美瓜カレーは美瓜ピクルス入りラー油をトッピングすることで、味に変化をつけ、大人も楽しめるメニューとなった。 ・商品のブラッシュアップや認知度の向上を図ったこともあってか、販売数を前年より大幅に伸ばすことができた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町内事業者では、スターフルーツとヘチマの加工技術に限りがあり、お土産品などの加工食品の開発、商品化に課題が多い。 ・開発した現行商品2品目は、事業者が直接販売する上では大きな問題は無く、成果目標を達成することができたが、代理販売(リテラー)、大手流通店舗が求める様な商品に育っておらず、県内外における出展時には、商談は行われたが、成立することが出来なかった。 ・成果目標に掲げた販売先の確保5箇所について、結果3箇所となり目標を達成できなかった。 ・マーケティングの観点から、スターフルーツ青果の市場流通量が未だ少なく認知度が低いことから加工食品の需要があるか、ヘチマも同様に加工食品の需要があるかを検証する必要がある。 ・ゆめかなえぼし(マドレーヌ、美瓜カレー)の販売数は順調に伸びているが、今後は関連する商品(「南風原町産スターフルーツ」を活用した商品、「はえばる美瓜」を活用した商品)を増やしていくことが課題となる。	・特産品開発のためにスターフルーツとヘチマ以外にも可能性のある食材を候補として、魅力ある商品を開発することに注力したい。 ・町内の食品加工技術には限界があり、加工技術をもった企業と契約製造を行うファブレス(外部製造)なども模索が必要なフェーズとなっている。 ・食品分野に限って商品開発を行ってきた経緯があるが、非食品分野の開発にほとんど着手しておらず、様々なニーズやニッチマーケットにおいても、あらゆる可能性を模索し、町産品の再評価を進める必要がある。 ・商談を成立させるには、納入価格や賞味期限等の改善や製造方法の見直し、商品自体のブラッシュアップを進める必要がある。 ・販路拡大に関しては成果目標の設定を、バイヤーに販売することだけを最終的な目標とせず、ご当地グルメとして商品を育て、流通量を増やすことや、自社の販売であっても、EC(電子商取引)などで販路を開拓して行くことも時流と言え、成果目標の再考も含めて検討したい。 ・スターフルーツ、ヘチマの加工食品の需要検証のため市場調査をおこなう必要がある。 ・ゆめかなえぼし(マドレーヌ、美瓜カレー)のPR及びブラッシュアップを今後も継続して行い、「南風原町産スターフルーツ」、「はえばる美瓜」を活用した商品開発を行う参画事業者の確保を図る。
今後の取り組み方針		
・加工食品の開発に適した食材の選定を再度行い、加工技術についても、現状の町内に不足している技術であれば、外部製造(ファブレス)等の手法も取り入れ、町内事業者の育成を推進する。 ・平成27年度は食品分野に限らず、非食品分野の商品開発を進め、新たに2品の開発をめざし、今後も南風原町の魅力をPRできる特産品の開発や育成を進める。 ・ゆめかなえぼし(スターフルーツ)マドレーヌ、美瓜(へちま)カレーともに、今後も商品のブラッシュアップを進め、目標を達成出来るよう、販路開拓やPR活動等続ける。 ・販売先の確保や販売実績の向上といった目標を達成するために、地域ブランドの育成や、認証制度等を活用して県内外に町特産品の情報を発信していく。 ・本町の特産品開発や現状ある特産品の販路拡大を行うために、市場調査や研究を更に進めたい。 ・ゆめかなえぼし(スターフルーツ)マドレーヌ、美瓜(へちま)カレーは売上が順調に伸びているので、今後も継続して販売を続け、販路拡大やPRを図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金	市町村	交付対象 外経費
		充当額	負担金	
7,718	7,718	6,174	1,544	0

南風原町
7,718千円

委託料
7,718千円

南風原町商工会
7,718千円

(町独自の商品開発技術力強化事業に係わる委託業務)

資金の 流 れ ・ 費 用 ・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約により委託した南風原町商工会は、商工業の総合的な改善発達を図るための組織として設立された、町内唯一の地域経済団体であり、地域経済に精通し、町の歴史背景や地域性、地域資源を十分理解している組織であり、本業務の遂行に必要な多くの町内事業者との広範なネットワークも有していることから、妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率が100%であり、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	